

プロジェクトの概要及びその効果

プロジェクトの概要

★2020東京オリパラが開催される東京（※）において、

○先進的な施設を含めバリアフリー化を集中的に実現

○高齢者や訪日外国人等にやさしい幅広いユニバーサルデザイン、ICTを活用した情報案内等をシンボリックに現出、ショーケース化

○他の先進国等に先駆けて超高齢化が進む我が国のベストプラクティスを内外にアピール

※成田・羽田空港ターミナル、主要ターミナル駅、大会競技施設までのルート及び最寄り駅、東京の人気観光スポット及び最寄り駅等を結び連続的なエリアを集中的にバリアフリー化、先進機器やICT等による案内表示の充実

プロジェクトの効果・レガシー

○2020東京オリパラの円滑な運営に貢献

○障害者を含む訪日外国人の快適な受け入れ環境を整備



○超高齢化社会におけるバリアフリー、ユニバーサルデザインの在り方をレガシーとして残す

○高齢化が進む地方を含め、障害者、高齢者等がいきいきと暮らせるユニバーサル社会の実現を加速

【背景】

○前回とは違い、今回はパラリンピックがある

⇒ 多くの障害者の来訪が予想

国民の障害者や高齢者等に対する理解が深まる契機

○障害者を含めた訪日外国人の受け入れ環境の整備が急務

○我が国の超高齢化に対応したユニバーサル社会の実現
(高齢社会の到来を予想する他の先進国等も注目)

【改革2020WG】

○成長戦略の加速（アクセラレータ）

「パラリンピック東京大会を踏まえ、さらなるバリアフリー化を推進」
(2014年6月「日本再興戦略（抄）」）

○2020東京オリパラをレバレッジとして活用

○民間、地方公共団体とも連携

○後世代に承継（レガシー）

(1) 公共交通機関の旅客施設(鉄道駅、バスターミナル等)におけるバリアフリーの推進

- エレベーター、エスカレーター、スロープ、ホームドア、点字ブロック、障害者用トイレ等の設置



【エレベーター】



【駅のホームドア】

(2) 公共交通機関の車両のバリアフリー化の推進

- 鉄軌道車両のバリアフリー化、リフト付バス、ユニバーサルデザイン(UD)タクシー等の導入



【UDタクシー】



【リフト付バス】

(3) 道路、都市公園、路外駐車場、建築物のバリアフリー化の推進



【歩行空間のバリアフリー化】

(4) 快適なトイレの整備



出典：TOTOホームページ

(7) 心のバリアフリー

- 公共交通事業者の職員教育を通じた接遇の向上
- 公共交通機関等における心のバリアフリー推進運動の展開



【交通事業者向けバリアフリー教育訓練の様子】



【車いす体験】

(5) 分かりやすい案内表示の推進

- バリアフリールート情報の充実(ICT、マップ等)
- ピクトグラム、デジタルサイネージの活用
- 駅係員呼び出しインターホン等による情報提供の充実
- ベジタリアンやインターネットカフェ等のピクトグラムを検討
- 温水洗浄便座の使い方案内表示



【磁気ループシステム】
※音声情報を補聴器に直接送る装置



【デジタルサイネージ】



【駅係員呼び出しインターホンによる筆談対応】

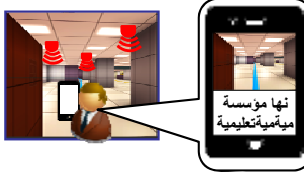


Vegetarian food Internet café
【ピクトグラム】

●主要ターミナルや観光スポットにおける重点的な面点・一体的なバリアフリー化

(6) ICTを活用した歩行者移動支援サービスの導入、バリアフリー関連情報の提供の充実、多言語化

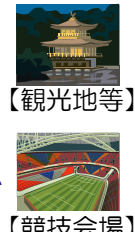
- ICTを活用した歩行者移動支援サービスの導入



屋内外問わず、自分の位置、目的地までの経路が詳細にわかる

シームレスに移動

屋内外目的地へ移動



【観光地等】
【競技会場】